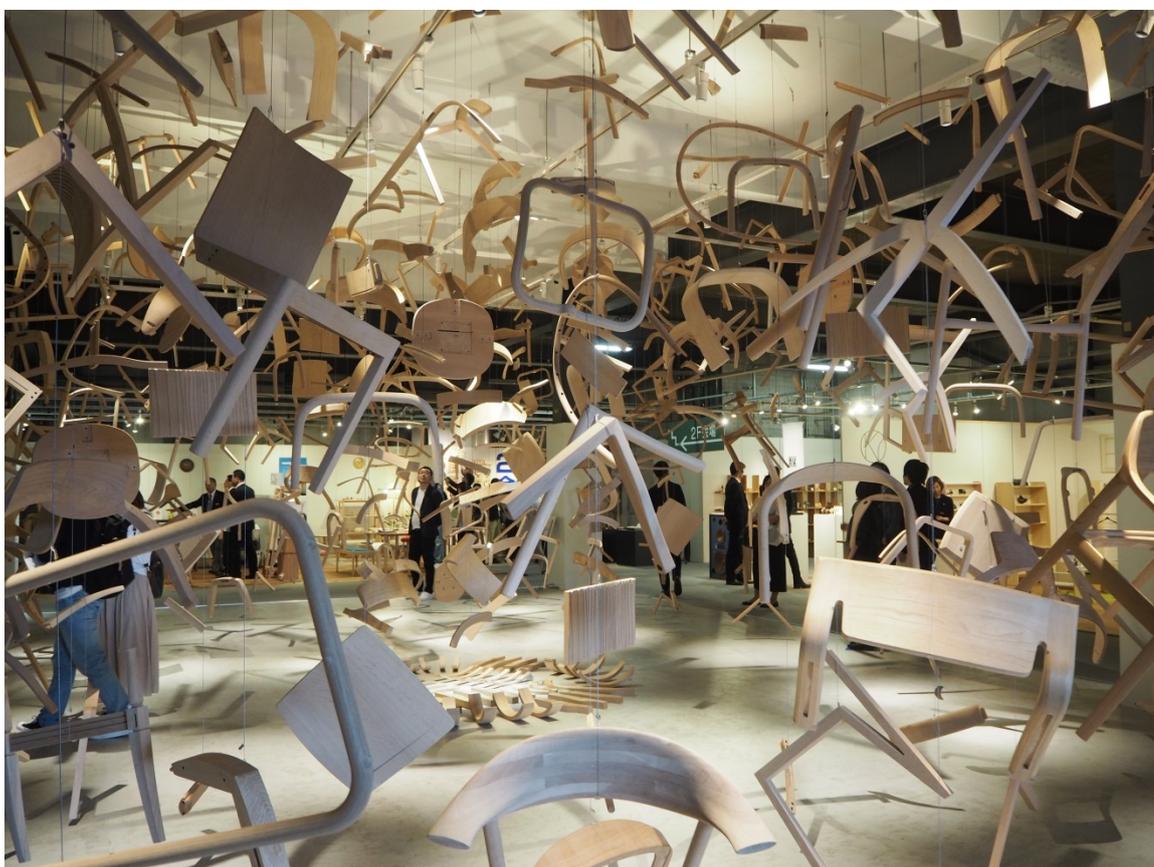


◆ ASAHIKAWA DESIGN WEEK 2016 ◆

昼食にちょっと時間をとられましたが、大体時間通りに会場へ到着！

受付を済ませて会場にあしを踏み入れました。

入口の田根剛氏のインスタレーションは圧巻！



後で聞いた話では、この椅子の部品たちは、完成した椅子の影を落としていたとか…。早く言っ
てよ！と、思っても遅すぎたのでした。

会場には様々なメーカーのコーナーがありました。

小物、家具、遊具…。それぞれが展示の仕方にも趣向を凝らしており、見応えは充分。いくら時間
があっても足りないかもしれません。





ちょっと慌しく旭川家具の展示を見て、シャトルバスに飛び乗った私達。
旭川家具センターを出発し、大雪クリスタルホールへ移動します。

大雪クリスタルホールでは、情熱大陸でも紹介されていた世界で活躍する建築家「田根剛」氏の講演会が行われ、全員で出席。

他支部の建築士会会員も多く出席していた模様です。
講演会は撮影できないので写真はありませんが、講演と対談との二部構成になっており、田根剛氏の建築家としての思想的なものを多くきく事ができました。

もともとはサッカー選手を目指していた田根氏。才能の限界を感じ、北海道東海大学で建築の勉強をして卒業後海外へ渡ったとのこと。現在はパリで2名の建築家と一緒に合同の事務所を営んでいるそうです。

数々のコンペに出品する中で、土地の持つ記憶や歴史などを大切に生かしたコンセプトが認められてコンペを勝ち抜いていく様子などが紹介されておりました。

現場に何度も足を運び、考えに考え抜いていく姿勢にはある意味、羨ましさも感じてしまうのでした。

エストニア国立博物館をはじめ、事務所での製作の様子、進行中の現場、なかにはコンペの落選案など作品についての色々紹介されました。

さて、講演が終わったあとは、ホールでのオフィシャルパーティーが開催されました。
もちろん、私達も参加しましたが、参加者の人数に圧倒されます。建物の中だけでなく庭もパーティー会場に！たくさんの人々に揉まれながらも、なんとか田根剛氏とも写真撮影をしました。





ADWのすごいところは、二次会もセットされているところ…。
会場を変えて、旭川買物公園の「MATHIBARU」で夜風に吹かれながら歓談はつづきます。
建築やデザイン、仕事を同じくする人たちとの交流も生まれ夜は更けていきました。
締めはもちろん、旭川ラーメン！！体重が気になりつつも翌朝に備えて就寝…。





6月23日。朝8時半のシャトルバスで、旭川家具センターに出発！
誰も寝坊することなく、みんなで移動できました。
さて、本日のメインイベントは…カンディハウスのファクトリーツアーです！！



カンディハウスのエントランスを入ると…これまた目を引くインスタレーションが。

ドイツのデザイナー「ミヒャエル・シュナイダー」氏のデザインした椅子「TEN」がお出迎え。
2階のショールームは、展示コンセプトも様々な空間が大量に…。全部見るには、とても時間が
足りません。

少し見ただけで、後ろ髪引かれながらもファクトリーツアーへ出発です。





ファクトリーツアーの最後には、職人になったつもりで「ペンたて」を作成。
良いお土産になりました。





この後、おいしい昼食（旭川の駅弁！）をいただいた後はバスで「独立行政法人北方建築研究所」へ移動。釧路総合振興局在席時に釧路支部と一緒に活用して下さった田中淳一氏が副所長になっており出迎えてくれました。

まずは施設の説明をお聞きした後、管内の見学をしました。







北総研の見学を終えて記念撮影。

この後、釧路へと向かった私達。

意外と盛りだくさんの内容に参加者の満足度も高かったようです。

「是非、来年も行きたい！！」と、今から楽しみにしつつ、旭川ツアーの幕は閉じました。

参加された皆さん、お疲れ様でした。

そして、ツアーにご協力くださった支部のみなさん、カンディハウス様、タカラスタンダード株式会社釧路営業所様、釧路衛星株式会社バス事業部様、JTB北海道釧路支店様ありがとうございました。